

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業点検・評価調書

4- -6

4-  
-6

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	民泊や遊休施設活用の推進
	節	.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	6 遊休施設活用の推進		事業主体	佐渡市観光振興課
	事業実施期間	H28～H32	関連団体	佐渡地域振興局企画振興部
事業概要	【事業目的】 ピーク時の宿泊施設不足への対応として、遊休施設の活用の推進を図る。			
	【事業内容】 島内の遊休施設の所有者と活用方策について協議・検討を進める。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 整備した相川地区佐州館の活用促進を図るため、地元と協議を行い活用方法を協議する。			
	【29年度実績】 相川地区の活用促進を図るため、ガイドンス施設の活用やまち歩き方針の説明について地元有識者との意見交換会を3回開催した。			
課題・今後の取組	【課題】 民業圧迫とならないか、運営形態も含め慎重に検討が必要である。			
	【今後の取組】 周辺の遊休施設が宿泊施設として利用できるかどうか地元と引き続き協議を実施する。			
事業評価	【事業の達成度】 { a (●) b (○) · c }			
	【事業実施の効果】 { a (○) b (●) · c }			
	【総合評価】 { A (○) B (●) · C }			
遊休施設の活用まで進まなかったものの、ガイドンス施設の活用やまち歩きをテーマに地元有識者と定例で議論することにつなげたことからBとした。				

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。